孫　子　の　兵　法

【非売品】

本資料は作成者の個人的学習資料です。
他者への譲渡、複写、複製等を厳禁します。

目　　次

○　孫子の兵法：概略

○　ベスト3

○　五事七計

○　孫子姫兵を勒（ろく）す

○　迂直（うちょく）の計

○　孫子の兵法　要点選別
①②③④

○　孫子を学んだ人々
推薦文権・参考文献

孫子の兵法：概略

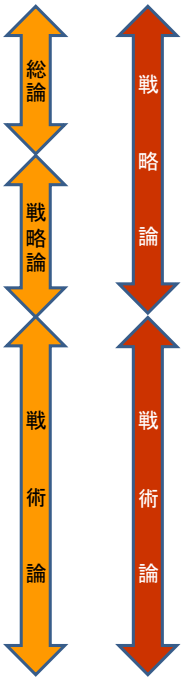
孫子とは
「孫子」の作者は、春秋時代（前770～前403）に斉の国に生まれた兵法家・孫武であるといわれている。
孫武の生涯は謎に包まれており、従来「孫子」の作者が本当に孫武なのか議論されてきた。
ちなみに司馬遷の「史記」に孫武に関する記録がある。
この記録によると、孫武は極めて冷徹な人物だったようだ。

孫子の兵法とは
兵法とは戦の方法をしめしたものだ。どのように戦えば勝てるのか、どうなると負けるのかそのメカニズムを説き明かしている。勝つためのノウハウといってもよい。
そして、中国初の兵法書としていまから約2500年前に成立したのが「孫子」である。
その後、「呉子」「司馬法」「尉繚子（うつりょうし）」などの兵法書が著されている。
また、兵法の考え方を世俗向けにとりまとめた「兵法三十六計」は現代中国の行動規範になっている。

「孫子」は全13篇からなる。
第1篇から第3篇が総論。第4篇から第6篇が戦略論、それ以降が戦術論という構成である。第1篇から第6篇が戦略論、第7篇から第13篇が戦術論ともとらえ

目　次
「孫子」の内容は次の十三編に分かれている。

計　篇	（第一）	国と戦争の関係について説く。
作戦篇	（第二）	戦争の基本計画について述べる。
謀攻篇	（第三）	戦わずして勝つ戦略を説く。
形　篇	（第四）	不敗の態勢の重要性について説く。
勢　篇	（第五）	組織に勢いをつける方法を説く。
虚実編	（第六）	実で虚を突く重要性を説く。
軍争編	（第七）	戦場で有利な位置に立つ方法について述べる。
九変編	（第八）	環境の変化への対応を説く。
行軍編	（第九）	戦地までの行軍について述べる。
地形編	（第十）	地形の利用法について述べる。
九地編	（第十一）	敵の出方について説く。
火攻編	（第十二）	火攻めの方法について説く。
用間篇	（第十三）	間諜（スパイ）の使い方について説く。



孫子の兵法　要点選別　④　（本資料作成者選定）

11　「将、九変の地利に通ずる者は、兵を用うるを知る」　　『九変篇』

【地形及び地形判断と、それをどう活用するかという状況判断の二つについて理解し実行できる将軍は、軍の用い方がよくわかっていると言える。】

通ってはならない道路の判断とは、　　泛地（はんち）
目先の利益につられて事業を始めてはならない。
本業との関連がなければ無視せよ。

攻撃してはならない敵軍の判断とは　　〇地（くち）
あちこちにつながりを持つ取引先や顧客とはコミュニケーションを深めよ。
仮に関係が悪化しても、こちらからクレームをぶつけることは避けよ

攻めてはならない城の判断とは　　絶地（ぜっち）
本社から遠く離れ、アフターサービスができない地の顧客に売ってはならない。
売ってはならない顧客もある。

争い奪ってはならない土地の判断とは　　囲地（いち）
自店の商圏内に多数の競合店が存在する場合は、季節ごとに早目に対策を打て。
撤退した方がよい立地もある。

受けてはならない命令の判断とは　　死地（しち）
競合が自社の顧客を奪いにきた場合、他に生き残る術が無ければ激しく戦え。
現場も顧客も知らない株主の意見には、耳を傾けてはいけない場合もある。

孫子を学んだ人々

孫武　【孫子の兵法を書いた人】
孫びん【孫武の子孫　一時、孫子の兵法を書いたと家荒れた人】
韓信　【臆病者という仮面】　曹操　【文武両道の英傑】
諸葛孔明　【不敗を目指した悲劇の知将】
司馬仲達　【臨機応変の天才】
呂蒙　【書を通じ猛将から謀将へ】　李靖　【唐王朝建国の立役者】
毛沢東【戦乱の申し子】　吉備真備　【菅原道真と並ぶ学識者】
八幡太郎義家と大江匡房　【源氏一門の祖と名家の神童】
楠木正成　【合理的思考に忠実だった武将】
毛利元就　【外交・策略の天才】　武田信玄【戦国最強軍団の将】
徳川家康　【謀略の古狸】
由井正雪と山鹿素行　【謀反と討ち入り・太平を揺るがした二人の兵学者】
吉田松陰と高杉晋作、久坂玄端
【師から弟子へ、維新の原動力となった「孫子」】

推薦文献・参考文献　（著者五十音順）

1	紀ノ右京	孫子の（なるほど）兵法	すばる舎
2	杉之尾宜生	面白いほどよくわかる孫子の兵法	日本文芸社
3	武田敦彦	弱者の戦略・強者の戦略	PHP
4	武田敦彦	リーダーシップ孫子	集英社
5	武田敦彦	孫子を読む	プレジデント社
6	ツォン・シャロオン	孫子はこう読む	総合法令
7	中野　明	今日から使える　孫子の兵法	朝日新聞出版
8	濱本克哉	孫子の兵法	日本経営合理化協会
9	守谷　淳	最強の孫子	日本実業出版社
10	守谷　淳	最高の戦略強化書　孫子	日本経済新聞出版社
11	守屋　洋	入門　損しの読み方	日本実業出版社